

「西條」

令和5年度 第6号

本気の挑戦 ～西條プライドを胸に～

校長 光安 淳子

前期生徒会が掲げた活動目標は、『挑～全校生徒が挑み続ける学校をつくる～』でした。信頼できる仲間と共に全力で挑戦し、まだ知らない自分自身の可能性に気付いてほしいという思いが込められていました。その言葉どおり、皆さんは、様々な挑戦を重ねてきました。そして、その挑戦は、多岐にわたりました。勉強や部活動だけでなく、個人での研究活動等、どれも目を見張るものがありました。

『挑戦』という言葉を考えてみると、1998年に出版された『広辞苑』第5版には、「たたかいをいどむこと」の語釈があります。それが、2018年出版の第7版になると、「たたかいをいどむこと。積極的に行動を起こすこと」とあります。他の辞書では、「これまで手がけたことのない困難な物事に立ち向かうこと。チャレンジ」と追記されているものもあります。時代を経るごとに、挑戦という言葉に精神的な側面が加わってきていることが分かります。私は、挑戦には、人それぞれ、様々な形があると思います。目標に向かってコツコツと努力を重ねること、今まで難しいと感じていたことに取り組んでみることに、些細なことでもいいから一歩を踏み出してみることに、挑戦の形は多様でいいと思います。

西條プライドを胸に頑張る、一人一人の本気の挑戦を、ずっとずっと応援したいと思います。



1年 理科の授業場面



2年 社会に学ぶ「14歳の挑戦」



3年 運動会での綱引き



吹奏楽部
洗足学園音楽大学での練習



県出品科学作品の説明